

令和5年度第2回さぬき市障害者計画等策定委員会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 令和5年12月8日（金） 13:30～15:00
- 2 場 所 さぬき市寒川庁舎3階 301・302会議室
- 3 出席者 [委 員] 岡村委員 山下委員 竹内委員 六車委員 日野委員  
水ト委員 岡委員 眞子委員 淀谷委員 植村委員  
川田委員 立花委員 渡邊委員 湯浅委員  
[事務局] 白井部長 浅川課長 濱崎課長補佐 山田課長補佐  
濱垣副主幹 山津社会福祉士 株式会社ぎょうせい 2名  
[傍 聴] 0名
- 4 議 題 (1) 第1回策定委員会に関する報告について  
(2) 計画素案について  
(3) パブリックコメントの実施について  
(4) その他
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	<p>ただ今から、さぬき市障害者計画等策定委員会を開催いたします。</p> <p>会議の成立の可否について報告させていただきます。本日は委員 15名中 14名のご出席をいただいております。要綱第6条第2項の会議の成立の規定を満たしておりますことをご報告申し上げます。また、第1回策定委員会におきまして、所用のため欠席しておりました3名の委員様をご紹介させていただきます。</p> <p>(委員紹介)</p>
(事務局)	<p>それでは、議事に移ります。委員長、進行をお願いいたします</p>
(委員長)	<p>それでは議題に沿って進めていきます。まず、第1回策定委員会に関する報告について事務局より説明をお願いします。</p>
(事務局)	<p>(事務局説明 議題1)</p>
(委員長)	<p>ただ今の事務局の説明についてご意見、ご質問等ございましたらお願いします。</p>
(委 員)	<p>30 ページ、一般就労への移行について、サービスの種類は修正していますが、コメントの修正がまだのようです。問4、(1)ですが、事業所から一般就労への移行というお話かと思えます。令和4年度における就労継続支援B型への移行が3名となっています、というような内容になっているので、修正をお願いします。</p>

(委 員)	B型からという風に直すということでしたが、変わっておりません。
(委 員)	(2)もコメントの内容がこの文章だとわかりづらいです。この文章だと、B型を利用している方が一般就労に行かれる見込みがあると捉えられます。
(事務局)	再度、分かりやすい表記にさせていただきたいと思います。
(委 員)	(1)は令和4年度におけるB型から移行するということです。
(委員長)	就労B型は福祉サービスなのでそこから一般就労への移行ということですね。それと逆になっています。就労していたけどB型へ来たというようになります。
(委 員)	一般就労された方が、その前にどこから移行してきたかということです。事業者が一般就労に行かれた方が3人いますということで回答しているわけです。
(委 員)	(2)も逆で書かれているのかと思います。
(委 員)	今、B型で利用しているけどもゆくゆくは一般就労できる人がどれくらいいますかという設問でしょう。その前に、この設問は何を求めた設問として出しているのか。
(副委員長)	問4の問いの趣旨に沿って書かないといけません。
(委 員)	この質問は、福祉サービスへの移行であったり、A型B型を利用している方が就職した人数をここに書かれています。今の説明だと逆だと思います。
(委 員)	一般就労する前の内容が変わり、一般就労した方の就労前の所属先は以下の表の通りとなっています。という書き方だったらつじつまが合います。
(委 員)	移行のA型、B型を利用した一般就労が見込まれます。今後、その他の就労できそうな方の人数を事業所が書いているので、令和5年度では就労継続し、B型からの見込みが3人となっています。であれば通じりかなと思います。
(事務局)	承知いたしました。再修正させていただきます。
(委員長)	よろしく願いいたします。他にはないでしょうか。
(委 員)	アンケート調査の42ページ、事業所が対応を行ったことを書かれていますと思いますが、『図書館利用時に大きな声が出ることであり何度か利用を断られた』という事例があります。これは、どういった意味でこういうものを載せているのでしょうか。例えば、大きな声を出すことがあるが、それを図書館という中で他の方に迷惑かからないように、あるいは大きな声を出すのだが、このような合理的な配慮をして利用できた等、利用できるようになったということなら分かりますけど、これはど

	うなのでしょう。
(事務局)	こちらに関しては、自由記述となっております、書いていただいたものを全て記載させていただいております。
(委員長)	そうですね。こういった配慮を行ってほしいのでこういう具体的内容というので回答したと、書いた側はそうなのではと思うのですが。
(委員)	この意見を後の設問にある市への要望など、この辺りへ、例えば図書館ではその障害を持った人たちの障害特性を考えて考慮した、行ってほしい等という文面だったら、支援の要望でいいと思うのですが、ここに記載されていたらいいのかなと思いました。
(委員長)	見守りの相談を受けたので、内容をそのままここに書いたのだと思います。そして、配慮してほしいという、皆さんからの希望だと思うのですが、対応できたらと思います。
(委員長)	次の議題になります。計画素案について事務局の方から説明をお願いします。
(事務局)	(事務局説明 議題2)
(委員長)	ありがとうございます。今の事務局の説明について、何かご意見、ご質問があればお願いします。
(委員)	説明していただいた中で 54 ページ、就労支援事業の利用者から、一般就労した人数が書かれていますが、就労継続支援 A 型からの一般就労が 0 になっていますが、さぬき市には一般就労支援 A 型がいくつあるのですか。
(事務局)	さぬき市に A 型の就労施設はございません。
(委員)	さぬき市の方が高松の事業所を利用して、そこでは A 型というのがありますか。
(事務局)	A 型の事業所に通われた人が就職したかということですね。令和 3 年度はありません。令和 4 年や 5 年はあると思われます。
(委員)	さぬき市では A 型の支援施設がないのに目標値を令和 8 年度に 1 人としています。高松市には A 型就労支援があり、さぬき市の障害者福祉計画なのに令和 8 年度には一般就労 1 人ですでは変な話かなと思うのですが。
(事務局)	就労移行支援事業所というものは、さぬき市にはありません。これも、利用者数が 1 になっていて、目標が 2 になっているというのが、やはり、市内にないと利用者数も増えません。近ければ他市施設を利用することで目標値を担うかもしれません。その辺りも市内にあればという声はよく利用者さんから聞くところとおっております。そのあたりを計画に反映できたらと思います。

(委員長)	<p>この中には、事業所の設立の目標値というのがあれば、A型や移行支援に限らず、他のグループホームなども、高松市の方に新規事業所が増えて、そちらに流れているのが現状です。市内にもう少しできたら良いとは思っております。そういう設置目標というものもあっていいのかと思います。</p>
(委員)	<p>施設からの復帰というか、移行ということで目標値を設定されていますが、市として数値を掲げるのはいいのですが、それを地域移行するためにどういう施策をするのかという具体的なところが必要だと思います。そういう意味で言うと、就労支援A型・B型になってきますが、そういう事業所の設置や、家庭で生活することを想定する、そういったところにどういった形で進めていくのかという具体的なところというのがあまり見えてこないような気がします。そして、住み慣れた自分が住みたいところ、生活したいところで生活できるようにという1番大きな目標のために、今行っていない施策などそういうところはもう少し分かりやすく表現していただきたいというところではあります。もちろん、数値目標で実際に支給決定を行っている就労AなりBのところ、何人かその内から一般就労へ自立していける人を目標として掲げているという意味はわかりますが、そうなるための施策や、事業所の育成などそういったところはもう少し組み込めないものかという気がします。</p>
(委員長)	<p>具体的にこういう施策を目標としていくというのを設定していけるものでしょうか。</p>
(事務局)	<p>61 ページに、事業者の確保と関係機関との連携による情報提供に努め、一般就労への移行及び地域生活への移行を踏まえて、サービスの充実化への支援に努めますということと、就労定着支援サービス提供事業所が市内にありませんが、就労移行支援の利用者のうち近隣市の就労定着支援サービス提供事業所を利用するものと見込んで記載していますが、先ほど言われたプロセスについては記載が十分ではないため、検討したいと思います。</p>
(委員長)	<p>よろしく申し上げます。他に何かないでしょうか。</p>
(委員)	<p>どのくらいの方が一般就労しているか、グループホームやひとり暮らし等の人たちが、どのようなサポートがあれば継続していくのか、サービス受給者が今のサービスの支給額で満足しているか、当事者の方々がどのように感じているか、その中で、整理できるイメージがあれば、アンケートの調査対象者や事業所からの意見として、こういうことが示されたとかいうのがあるのですが、やはりそのようなところヒアリングできれば良いかなと思います。</p>

(事務局)	<p>今回につきましては、サービス事業所を中心に、その事業所の目線でアンケート取らせていただいたのですが、今後は利用者やその家族に向けたアンケート調査を行い計画に盛り込もうという考えを持っていこうと思っております。</p>
(委員長)	<p>ありがとうございます。他にはありませんか。</p>
(委員)	<p>障害者がみんな高齢化しています。自分も、母親も年を取ってきていて、そうすると元気な間ではなく、やはり最期はどうするかという、その辺りはどういう取組をされているのかと思ってお伺いしました。</p>
(委員長)	<p>当事者の方が高齢になった時の何か施策とか、この当事者の保護者さんのことも含めてでしょうか。</p>
(委員)	<p>そうです。</p>
(委員長)	<p>そういう、高齢化の対策がこの計画の中に反映しているものか、どうなのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>地域生活課題を抱える障害のある人や家族に対する包括的な支援体制の整備に努めることも盛り込んでおりますので、それが回答になると思います。</p>
(委員長)	<p>地域生活支援拠点とかも、親亡きあとのこととか、そういうのを考えていく事業にはなるので、そういう意味で少しずつではありますが検討していく課題ではありますね。他にないでしょうか。</p>
(委員)	<p>東部支援学校で勤務しております。今年度の児童生徒で、さぬき市に住所がある方が 33 名いらっしゃいます。小学部からご利用されている方は重度な方が多いのですが、中学校から高等部へ入学してくるお子さんは、意外と軽度な、社会参加できるのではと思われるほどの、ポテンシャルとして高いものをお持ちの方が多いです。その数が増え、卒業後すぐに企業就労に導けるだろうかというところを探っていますが、ご家庭での支援力や、本人に、もう少し就労というところに時間をかけて移行していくようなプログラムがあれば、将来的な自立も可能という風を探れます。グレータイプのお子さんの場合、さぬき市の支援を進路指導していく中で、やはり A 型事業所のなさというところと、グループホームの使いにくさというところが生じます。この 2 点、今後のさぬき市を考える上で強化していくことが可能であれば、高松の支援を使うとなると距離的にも何か困った時の急のサポートがしにくいというのがあります。それらをこれから考えていく上で、資源としてさぬき市にプラスされると助かる方が増えるのではないかと予想しますので、ぜひご検討いただければと思います。</p> <p>それと、B 型や、生活介護での医療については、すごく充実して協力</p>

	<p>的な地域だというのを私は感じています。ただ1点、最近に限りませんが、共働きの家庭が多くございます。やはり送迎についての支援というところが利用しにくいというのがあります。もちろん、立地の関係もありますが、高松などのサービス支援を見ますと、おおよそがドアツードアになりつつある中で、やはり利用の難しさや困難さというところから、現在の高等部3年生のさぬき市に住所がある6名が高松市圏域の事業所利用というところに卒業後歩まれます。これから先を考えた中で、魅力ある地域作りというところでの資源のもう一度見直しというところが必要かと思いました。</p>
(委員長)	<p>ありがとうございます。今後の課題として、学校の方とも協力しながら今後、さぬき市内の事業所を今の学生さんたちが希望していきたいと思えるような地域作りが必要と感じます。そういうことを、市内にある事業所の方とお話などできたらいいのかと思います。この計画とは、ずれるかもしれないですが、検討の余地があるかと思います。他にないでしょうか、</p>
(委員)	<p>紙でたくさん資料がありますが、デジタルコンテンツとして、タブレットはスクロールしてさっと見られるのですごく早いです。修正箇所もリモートで見られます。紙はかさばりますよね。ここだったら、Wi-Fiで飛ばしてデータを拾えますし、フラッシュメモリなども用いてタブレットで見ながらできるので、紙を使わなくてもできるのではないかなと思いました。</p>
(委員長)	<p>画期的なご意見だと思います。また市の方で考えてもらえたらと思います。お願いします。</p>
(委員)	<p>雇用就労促進強化のところで、受け入れ事業所というのは増えてきていますが、やはり交通手段の問題で行けないというケースが出てきています。通勤が困るという声がある一方で、コミュニティバスとかも、本数は少なくなったり、路線がなくなったり、そういったことが生じてきているので合わせて考えていただけるといいかと感じます。</p>
(委員長)	<p>ありがとうございます。移動手段の公共バスや電車も限られたもので、通いたいけど通えないという、力はあるのに就職できないというパターンもあると思います。そういう交通の整備というのもさぬき市の課題かと思うので考えてもらえたらと思います。色々出たご意見を含めながら、計画素案の作成をお願いしたいと思います。</p>
(委員)	<p>先ほどのお話であった本人さん、あるいは家族への聞き取りということも考えていただけるといってお話をしたのですが、具体的にいつ頃それをされるのでしょうか。本人や家族からの情報も入れて、全部は難</p>

	<p>しいとは思いますが、要望を入れて計画を立てるべきだと思うので、具体的にいつ頃するのかというあたりも教えていただけたらありがたいと思います。</p>
(委員長)	<p>当事者の方、その家族の方の聞き取りについて、今後の見通しがあればお願いします。</p>
(事務局)	<p>次回計画の時には、障害者ご自身やご家族に、全てではないかと思うのですが、次回の時ということ考えてはおります。</p>
(委員)	<p>精神保健福祉に関する医療・相談体制の充実というところで、さぬき市の障害者相談支援事業所が9箇所にはなっています。知的と身体は市内に専門的な事業所がありますが、精神疾患というところが広域委託になっていて、市内に精神に特化した相談支援事業所がないというところが相談窓口というところでさぬき市内の精神疾患、メンタルヘルスに関して相談しづらいというところもあるのではないかと思います。</p>
(委員長)	<p>精神の方の相談支援所はずっと課題ですが、できたらいいかと思えます。何かいい案があればお願いしたいと思えます、私の方でも計画というところでまた盛り込んでもらえるのであればお願いできたらと思えます。</p>
(委員長)	<p>他にないでしょうか。</p>
(委員長)	<p>特にないようでしたら、色々ご意見が出たので、またその意見を踏まえて、計画してもらえたらと思えます。</p>
(委員長)	<p>議題3のパブリックコメントの実施について、事務局からお願いします。</p>
(事務局)	<p>はい。資料3をご覧ください。資料3の2つの案についてご審議をお願いいたします。</p> <p>案1についてご説明します。本日の指摘事項やご意見を計画素案に反映させるとともに、庁内の各課に所管する施策について最終確認をいたします。1月17日の第3回策定委員会で素案が承認されたのち1月29日から2月27日までの1カ月間、パブリックコメントを実施します。パブリックコメントは、市のホームページでの公開の他に、寒川庁舎と本庁生活環境課での縦覧も行います。パブリックコメントが終了したのち、第4回策定委員会で結果の報告を行い、原案について審議、承認後、計画案として答申になります。</p> <p>案2についてご説明いたします。案1と同様に、本日の指摘事項やご意見を計画素案に反映させるとともに、庁内の各課に所管する施策について最終確認をいたします。次に案2では、内容を修正した計画素案を委員長にご一任いただいた後、12月28日から1月26日までの1カ月間、</p>

	<p>パブリックコメントを実施します。案1と同様に、パブリックコメントは市のホームページでの公開の他に、寒川庁舎と本庁生活環境課での縦覧も合わせて行います。計画素案につきましては、委員の皆様にも郵送でお送りいたします。大変お手数ではありますが、再度ご確認いただき、パブリックコメント期間中にご指摘、ご意見をいただければと考えております。パブリックコメントが終了したのち第3回策定委員会で結果報告を行い、原案について審議、承認後、計画案として答申になります。</p> <p>以上、いかがでしょうか。</p>
(委員長)	<p>事務局の説明について、案1と案2ということですが、ご意見、ご質問等あればお願いします。</p>
(委員)	<p>パブリックコメントで特にご意見がなかったら、もうその後の会がないという形をとられていたと思うのですが。パブリックコメントで意見がなくても、この案だともう一回集まって確認をするという形になるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>はい、そのようになります。</p>
(委員)	<p>皆さんご意見いただいたのにもう一度集まって、パブリックコメントしてまた集まるのは大変かなと思うのですがどうかでしょうか。</p>
(委員長)	<p>パブリックコメント期間中に皆さんに確認してもらうのであれば、1月17日に集まらなくていいのかなと思うのですが、どうですかね。他に何かご意見ないでしょうか。</p>
(委員長)	<p>ご意見ないようであれば、案2の方でお願いできたらと思います。</p>
(委員長)	<p>次の議題はその他ということですが、今までのことで何か気づいたことが出てきましたという方いらっしゃったら、この場で言ってもらえたらと思います。</p>
(委員)	<p>確認ですが、最初、事務局の説明では、事前に素案を送るから意見があったらこれで出してくれというような説明があったと思いますが、そういう理解でいいでしょうか。</p>
(事務局)	<p>はい。修正したものをお送りします。</p>
(委員)	<p>今回会議されて、いろんな意見が出てきました。その部分が反映されているかどうかというのを確認する場が今の話ではないみたいですが、送っていただくのはどの時点のものを送っていただけるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>パブリックコメントに出す前のもをお送りするような形です。</p>
(委員)	<p>もし意見があればパブリックコメント期間中にお願いしますというように聞こえ方がしたので、そういう理解でいいのかという確認です。</p>



(委員長)	それで皆さんいいでしょうか。
(委員)	先ほど私が伺った、当事者や家族への聞き取りを行っていただけると。それを計画に入れるという、次というのは3年後ですか。
(事務局)	はい。次回計画です。
(委員)	3年も経ったらこの委員もほとんど変わると思いますし、そういう話があったことさえも、わかりません。今回の計画案に基づく計画案ありきで進めるのだったら、おかしな話だと思います。
(委員)	第2案ということで、計画素案の承認を委員長に一任しパブリックコメントを実施します。そこで意見が出て、それも委員長さんが一任して最終の3回は確認だけというイメージですね。
(事務局)	パブリックコメントで出てきたものを、最終的に皆さんの方でまた確認いただけたらと思います。
(委員)	最終に計画が決まって、最終の報告をされて計画案の答申はいつまでにというのはありますか。
(事務局)	年度内ということをお願いします。
(委員)	そしたら、答申すれば4月1日から施行という形でしょうか。
(事務局)	はい。そうです。
(委員長)	どうですか。その当事者の方のご意見を聞いて、それを受けて1回集まった方がいいのか、最終3月15日に決まったもので3年間の計画となってしまうのですが、委員長へ一任してというのがすごく気が重いなと感じています。
(委員)	3年後、新しい計画案を作るスタートの時に、当事者の要望とか、家族の要望を聞くところからすれば違うと思います。そこが1番大事になってくると思うので、ぜひとも今回無理であれば、ぜひ申し送りしていただきたいと思います。
(委員)	事業所へのアンケート依頼というのは何月頃にされたのでしょうか。当事者のアンケートの聞き取りは第1回の時に話したぐらいで、全体の意見が反映されてなかったと思います。やはり、アンケートしていただけたらいいと思います。今からは難しいと思うので、次回は早くからアンケートをお願いします。
(事務局)	事業所に対しての調査は、今回のものについては8月から9月の初旬に回答を締め切りまして、それを反映するという形をとっています。
(委員)	それだと期間がなさすぎて難しいかと思うので、次回は早めにぜひお願いしたらと思います。
(委員長)	今回は時期的にも難しいところもあるので次回、3年後の計画作成の時は事業者と当事者へ早めにご意見をもらうということ、引き継いで

	<p>もらえたらと思います。</p>
(副委員長)	<p>団体に直接聞くということもできないでしょうか。</p>
(事務局)	<p>団体には、意見を聞いているので、そういう意見でどうですか。</p>
(副委員長)	<p>アンケートではなく、各団体に呼びかけて、直接団体からの意見の聴取はできないでしょうか？事業所の意見だけではなく、当事者の意見を今から聴取する。今から3年も待つのはおかしい話で、せつかく今、案を作っているのだから今の意見を反映しなかったら3年間が無駄になります。</p>
(委員長)	<p>当事者の意見を聞くなど、何か早急に取り組めることがありますか。</p>
(事務局)	<p>まず、アンケートにつきましては、全体のアンケート、障害者、障害のある方、手帳を持たれている方というのは現在の市の方で3000人ほどいらっしゃいます。その方に対してのアンケートというのは大変申し訳ないのですが、今からは困難だと思われまます。先ほど担当より説明したように、次期の計画におきましては、3000人の方より抽出ということでアンケートの実施を考えたいと思います。それも、3年に1度の計画というのはこの障害だけではなく、介護等の様々な福祉計画が3年に1度更新されている時期になっています。本来、職員が計画作成すればいいのですが、今回のような形で民間業者に委託をお願いしております。というのは、アンケートの集計であったり、原案の作成であったりというのをお手伝いしてもらっていますが、その業者が全国的に3年に1回は飽和状態をお願いできるような状態にもなっています。そんなこともありまして出発が遅れたというのがあります。次回計画におきましては、このアンケート調査が非常に時間を要する、今回50の事業者で1月の期間、集計に1月半の期間がありました。次回、3000人を対象とした場合、30パーセントでも1000件程度は集める必要があると思います。そうなれば、今回のような形のアンケートを前年度に実施し、次年度において計画の作成ということも、今回の計画の時間的なものを見まして担当の方と相談しながら次期計画においてはこういう準備も必要ということも考えております。そういう中で、先ほど委員の言われたように、少しでも代表の方の声以外のところでご協力を得られるのであれば何人かお声をお聞きして、要望という形で、こんなことしてほしいなということは何らかの形でこの計画に反映できればと思っておりますので、時間的なものを、この会議の後にでもご相談させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
(委員長)	<p>ありがとうございます。今の話でよろしいでしょうか。他に何かご意見等ないでしょうか。</p>

(委員長)	特にないようでしたら事務局の方でお願いします。
(事務局)	はい。決めていただいた案2で、次回開催予定については、3月15日金曜日13時30分から1階、多目的ホールにて行いたいと思います。
(委員長)	次回の開催は3月15日ということで、1時30分から今度は1階の多目的ホールということです。 以上をもちまして、本日の会議を終了したいと思います。いろいろなご意見、ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。